

化石研 ニュース

No.118 2013/10/21

編集・発行:化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

第139回例会のご案内

下記のとおり第139回例会を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

■日時： 2013年11月23日（土・祝）

午後1時30分～5時

■場所： 滋賀県立琵琶湖博物館

草津市下物町1091（TEL 077-568-4828）

■内容：【講演会】

テーマ「解剖学で探る古生物の生態」

13時30分 - 13時40分 あいさつ

13時40分 - 14時40分

林 昭次（大阪市立自然史博物館）

「化石骨組織から解明する絶滅動物の生理・生態」

14時40分 - 15時40分

藤原慎一（名古屋大学博物館）

「かたちの違いは機能の違い

—筋骨格系モデルによる絶滅四肢動物の前肢の姿勢・運動機能の復元法」

（15時40分 - 15時50分 休憩）

15時50分 - 16時50分

河部壮一郎（岐阜県博物館）

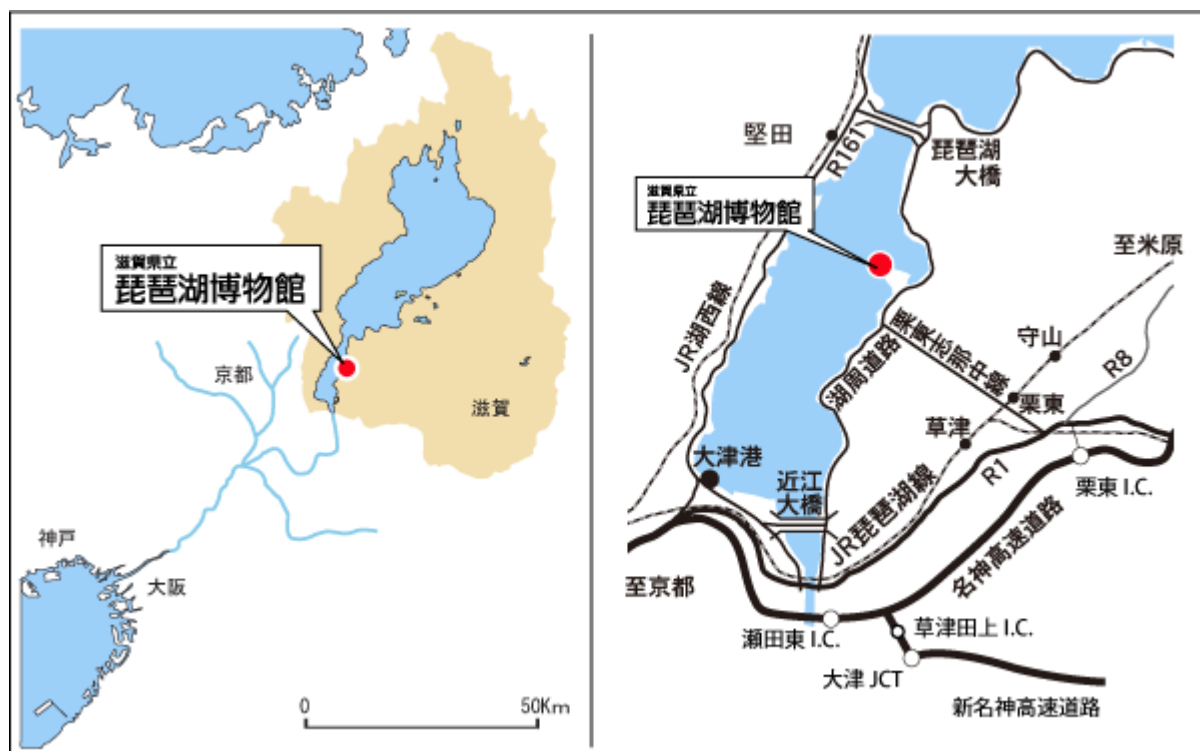
「CTを用いた鳥類における脳形態の探究」

17時 終了

バス 17時29分 博物館発

草津駅周辺で懇親会（要予約）

[地図]



<鉄道とバス>

- JR 琵琶湖線草津駅下車。
(草津までは、JR 琵琶湖線新快速、京都から約 20 分、米原から約 20 分)
- 草津駅西口から、近江鉄道バス、烏丸下物線烏丸(からすま)半島行き乗車、琵琶湖博物館前下車。(バス所要時間約 25 分)
 - ※ 交通案内は琵琶湖博物館のホームページ <http://www.lbm.go.jp/> からもご覧いただけます。
 - ※ 草津駅から博物館へのバスは本数があまりありません。13:30 の開会に間に合うためには、**草津駅 12:40 分発**のバスに乗る必要があります。

<懇親会>

- ・懇親会は、講演会終了後公共のバスで草津駅に行き、駅周辺で 18 時より行います。
- ・参加ご希望の方は、高橋または山川 (takahasi@lbm.go.jp, 電話 077-568-4828) に **11 月 10 日まで**にご連絡ください。

- ※ **運営委員会(役員のみ)**を、23 日(土・祝) 11 時 20 分～13 時 00 分に行います。
草津駅西口発 10:45 のバスに乗車していただきますと、
「びわこ博物館」バス停に 11:09 に到着します。
役員の方には、詳しい会場などについて、後日連絡いたします。

【講演要旨】

「骨組織学から読み解く絶滅動物の生理と生態」

大阪市立自然史博物館 林 昭次

「骨組織学：Bone histology」とは、骨を切断し、薄くスライスすることで、内部の組織を観察し、骨の機能や成長について研究する手法である。この骨組織学を用いることによって、従来は推定することが困難であるとされてきた絶滅動物の成長速度、代謝といった生理や、運動様式、群れの年齢構成、装飾物（トサカや棘など）の機能といった生活様式が明らかにできることがわかってきた。

演者は、この「骨内部の組織に着目する」という新しい手法により、これまで行ってきた恐竜の装飾物の機能や絶滅哺乳類の水生適応に関する研究を中心に、骨組織学の化石研究への有用性について紹介する。

「かたちの違いは機能の違い

—筋骨格系モデルによる絶滅四肢動物の前肢の姿勢・運動機能の復元—

名古屋大学博物館 藤原慎一

四肢動物は進化の過程で様々な前肢の機能を多様化させ、環境に適応してきた。特に前肢の運動機能の変化は動物の運動機能に大きく影響し、側方型から下方型への移行や四足歩行から二足歩行への移行、飛翔能力の獲得など、四肢動物の進化史の中でも重要なイベントであると考えられている。この運動機能の進化は、個々の絶滅動物の前肢の運動姿勢や運動機能についてより確からしい復元をしていくことで初めて、その変遷を追うことができる。

今回は、演者による300種に及ぶ多様な現生四肢動物の骨格形態の調査結果から、モーメントアームを利用した前肢姿勢の復元手法が有効であること述べ、角竜類 Ceratopsia の前肢姿勢の復元例を紹介する。

「CTを用いた鳥類における脳形態の探究」

岐阜県博物館 河部壮一郎

脊椎動物化石のほとんどは骨として見つかり脳がそのまま発見されることは稀であることから、絶滅動物の脳を直接観察することはできない。しかし最近の研究によって、化石をCTスキャナで撮影しエンドキャストをつくることで、絶滅した動物の脳の形に関する情報が劇的に増えてきた。一方で、現在の動物の脳形態に関する研究は意外と多くない。絶滅動物の脳形態はわかっても、そこからどんな情報を引き出すことができるのか、未だわからないことが多いと言える。よって、今回は現生鳥類の脳形態を詳しく調べることで、どのような情報を引き出せることができるのか、そしてそれをどのようにして古生物へ応用できるのかということについて、脳形状と脳のサイズ、脳サイズは脳の幅、脳形態と系統の事柄に触れながら話したい。

>>> 博物館の特別展・企画展等の開催情報（2013秋～2014）<<<

■ ミュージアムパーク茨城県自然博物館（茨城県坂東市）

・・・ジオトラベル in いばらき / 2013.10.12 ～ 2014.1.19

（次ページへ続く）

■ 震災復興・科博コラボミュージアム

- ・・・小野町ふるさと文化の館（福島県小野町）／2013.10.5 ～ 2014.11.4
- ・・・福島県文化財センター白河館（まほろん）（福島県白河市）／2013.12.4 ～ 2014.2.9
- ・・・猪苗代町体験交流館（福島県猪苗代町）／2014.2.11 ～ 2014.3.2

■ 国立科学博物館（東京都台東区）

- ・・・大恐竜展 ゴビ砂漠の驚異／2013.10.26 ～2014.2.23

■ 丹波竜化石工房 ちーたんの館（兵庫県丹波市）

- ・・・羽毛を持った恐竜たち／2013.11.23 ～ 2014.1.13

>>> 出版物のお知らせ <<<

『穿孔貝-ボーリング・シェル-の詩』^{うた}

カラーグラビア2ページ、本文77ページ、図版80枚。穿孔貝研究の普及、ならびに増田孝一郎・宮城教育大名譽教授追悼を目的として平成25年7月に千代田厚史会員が発行した冊子です。

内 容：第1部 穿孔貝の研究、第2部 増田孝一郎先生と穿孔貝、第3部 仙台・宮教大と増田先生。

価 格：600円（送料込み、ただし直接渡しの場合は500円）

申込方法：Eメール等で千代田会員まで、郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、送料込価格（600円）

を下記の千代田会員の郵便振替口座に送金してください。Eメールが使用できない際には、直接申込みも可。

口座番号 00140-9-264017 名義 千代田 厚史（チヨダ アツシ）

問合先：〒342-0056 埼玉県吉川市平沼133 千代田厚史（自宅電話・FAX 048-984-2303）

メールアドレス chiyodite-2000@mve.biglobe.ne.jp

>>> 事務局だより <<<

■ 千代田厚史会員からは、ご自身が著した出版物の情報をお送りいただきました。

■ 2013年度の会費納入をお願いします

今年度会費が未納入の方は、下記の郵便振替口座へのご入金をお願いいたします。

先日発送した会誌の封筒宛名に、何年まで納入されているか出力されています。

3年間、会費未納の方は、除籍となります。

編集・発行：化石研究会事務局 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1

群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/tepkun/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会（カセキケンキュウカイ）

このニュースは、上記ホームページでも見ることができます。前号までのニュースも見られます。現在、印刷版でニュースが郵送されている会員の中で、郵送されなくても良い方は是非ご連絡ください。費用と労力の削減に御協力ください。